明日へ向かって

第３学年　　学年だより
令和６年　　１月１２日
　　第５７号

進路とは自分の生きざまの延長線上にある
進むことがほぼ決まっている道

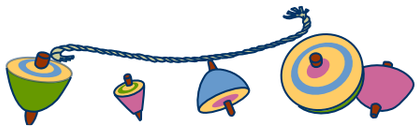
昨年の四月より先生から、「この夏休みが勝負だ」「二学期は内申が決まるから大切だ」などと声をかけられ続けてきましたが、いよいよ本番の三学期を迎えました。

その大切な時期を迎えて、「自分は今、なにをなすべきか」をじっくり考え、はっきりした判断を下して、勇敢に立ち向かわなければなりません。

人はとかく、自分が頑張ったことはよく覚えているし、自分なりに頑張ったことを評価してほしいという衝動にかられます。それも、「自分が望むごほうび」がほしいと希望するものです。

しかし、トータルで見てみると、「ものすごく頑張った自分がいる」ということは、逆に「そこまで**は**頑張らなかった自分**も**いた」ということに他なりません。このことを冷静に受け止め、可もなく不可もなく自分のこれまでの生きざまを見据えて、これからを考えるべきです。これが「自分を正しく見つめる」ということです。

◆四月からまた一年生◆



今はとにかく、自分の決めた（あるいは決めようとしている）進路が現実のものとなるよう、最善を尽くすことが一番です。ここへきていたずらに不安になり、志望校をあれこれ迷ってみたり、「なにかうまい手があるのではないか」とふらふらするのは**危険**です。どうやって決めた学校であっても、結局あなたが四月から通うのは**ただ１校のみ**なのです。

今は進路を現実にするための努力に一途になればよい。けれど、新しい年が明けたということは、もう間もなく新たな道を歩んでいかねばならないということです。受験のためにさえ頑張っていれば良かったこれまでとはまた全然別の努力が必要になる。志望校が決まるということは、その志望校での生活に目線を投じることです。

あなたは「受験」というシステムそのものに踊らされてはいませんか？　あなたが進もうとしている道は、あなたにとって有益ですか？　どんな学校へ進んでも、**そこで輝くことができるのが一番なのだ**と肝に銘じることです。

当然のことですが、受験をするためにはこなさなければならないことがたくさんあります。自動的に受験ができるようになるわけではありません。その一つ一つを着実にこなして初めて受験当日を迎えることができるわけです。

実はこのことは、日常の行動と深く連動しています。「遅刻をしない」「時間を見て自分で動く」「日直や係活動をきっちりやる」「提出物を期限に仕上げて出す」こういったことが日頃からできている人は、受験に関する事務でも、自ら計画性をもってきちんと一つ一つこなせるものです。この時期、これらのことを自分の責任において行えるようにしてくることこそ、「最後の階段を登っている」と言えましょう。

こういう「あたりまえのことをあたりまえにやる」ということ、それが精神を安定させ、本番に実力を発揮できる基礎を構築していきます。火のないところに煙は立たずといいます。**一つの結果が出る背景には、必ず原因があります。**今こそは生活のリズムを一定に整え、ごくあたりまえとも思える生活の流れを崩さないことが大切。それが崩れることは失敗につながります。ここまできたら、あせる必要はないのです。

副校長先生からいただきました!

今後の予定　*ESAT-J の結果が昨日からマイページで見られるようになっています。確認をお願いします。*

１５日（月）	①学活　調査書記載事項通知配布　都内私立推薦・都外私立一般事前指導 都内私立単願推薦出願開始
１６日（火）	避難訓練
１７日（水）	千葉県私立一般入試　④カット午前授業
１８日（木）	千葉県私立一般入試
１９日（金）	千葉県私立一般入試　⑤⑥総合　受験に向けて
２０日（土）	都内私立推薦入試
２１日（日）	都内私立推薦入試

※受験結果の報告は２２日（月）の学活で！　吉報を待っています！